

2013.6.25

「公共交通機関等における
ベビーカー利用に関する協議会」

資料 4

公共交通機関における ベビーカー利用について

神戸女子大学家政学部
西本由紀子



<研究の背景>

- 近年、公共交通機関におけるエレベーターの設置などのバリアフリー環境が整備され、ベビーカーに子どもを乗せたまま気軽に外出しやすい環境になってきている。
- 少子化対策の一つとして「子育てバリアフリーの推進」が取り上げられ、子育てを支援する生活環境の整備が掲げられている。
- しかし、ベビーカーでの外出はまだまだ不便な点も多く、周囲の人々の理解や手助けも少ないのが現状である。その反面、ベビーカー利用者のマナーの悪さも問題となっている。

<研究の目的>

- ベビーカー利用者とベビーカー非利用者を対象に、公共交通機関におけるベビーカー利用に関する意識調査を行い、双方の意見の違いについて明らかにすることを目的とする。
- 公共交通機関において、安全・安心に配慮したベビーカー利用を行うために、主に心理的側面から環境を整備する方策について提案する。

目次

1. 乳幼児の保護者を対象とした
ベビーカー利用に関する意識調査
2. 鉄道内におけるベビーカー利用者観察調査
3. 鉄道内におけるベビーカー利用に対する乗客の意識
4. まとめ



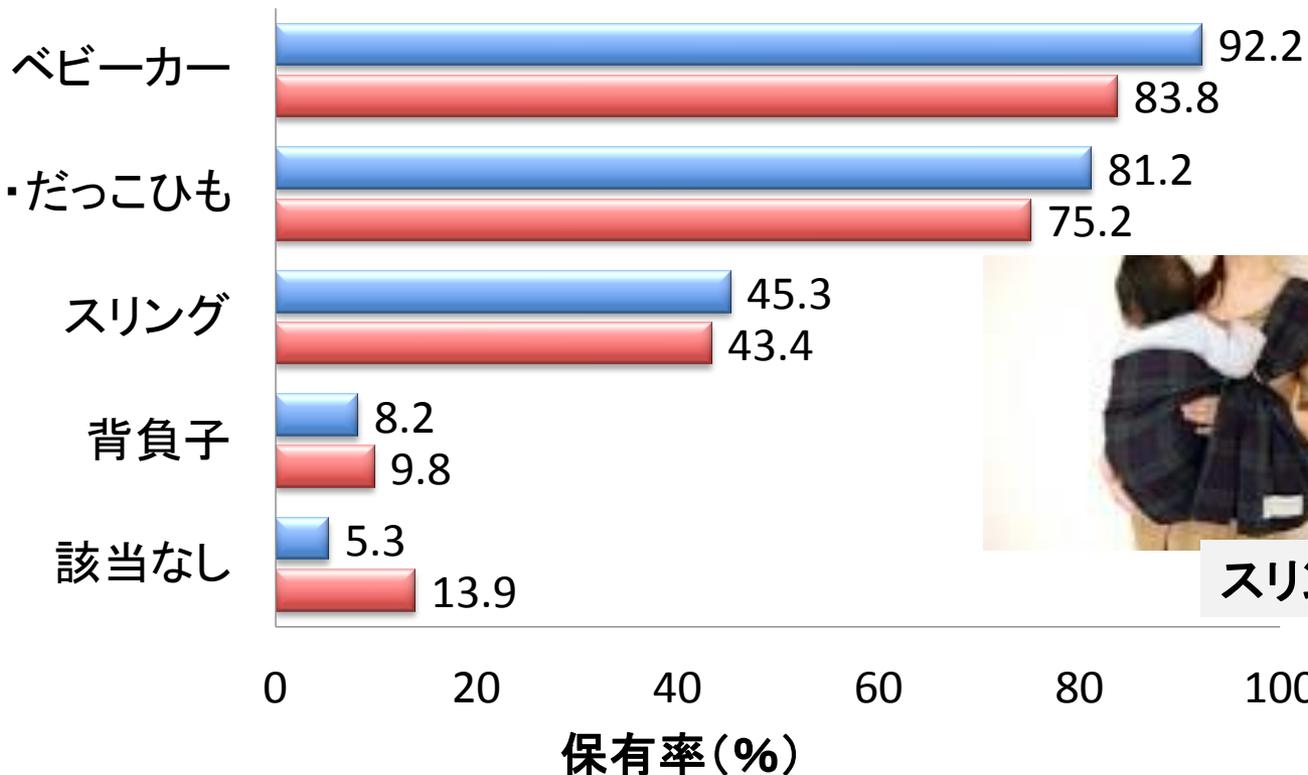
はじめに. 乳幼児連れの移動

幼児運搬用具の保有状況

谷口ら:首都圏の未就学児を持つ母親
計1000名を対象に行ったWEB調査(2009年)



背負子



スリング

■ 自動車非保有 n=560 ■ 自由に利用できる車がある n=245

近年の国内ベビーカー

出生数: 約107万人/年(2009年)
ベビーカー販売台数: 7~80万台/年

乳母車SGマークの基準改正(2009年)(財)製品安全協会

SGマーク付きベビーカー: 37.8万台/年(2009年)

旧SG基準

A形; 1月~24月
B形; 7月~24月



A形、超軽量
(3.9kg)

新SG基準

A形
腰がすわる前~
最大48月
(望ましい使用時間: 2時間)



B形
腰がすわってから~
最大48月
(望ましい使用時間: 1時間)



お母さんの多様化

「軽さ」⇒「押しやすさ」、
「おしゃれさ」重視へ



1. 乳幼児の保護者を対象とした ベビーカー利用に関する意識調査

調査概要

調査対象	神戸市保健福祉部実施の4か月、1歳6か月健康診 査対象の乳幼児の保護者 神戸市N区役所実施の子育てセミナーの参加者
調査方法	質問紙調査(留置自記法)
配布／ 回収方法	事前郵送配布／直接回収 一部、直接配布／直接回収を行った
調査時期	2009年1月～3月
回収率	66.3% (有効回収数698票／配布数:1052票)

1-1 乳幼児連れの外出実態

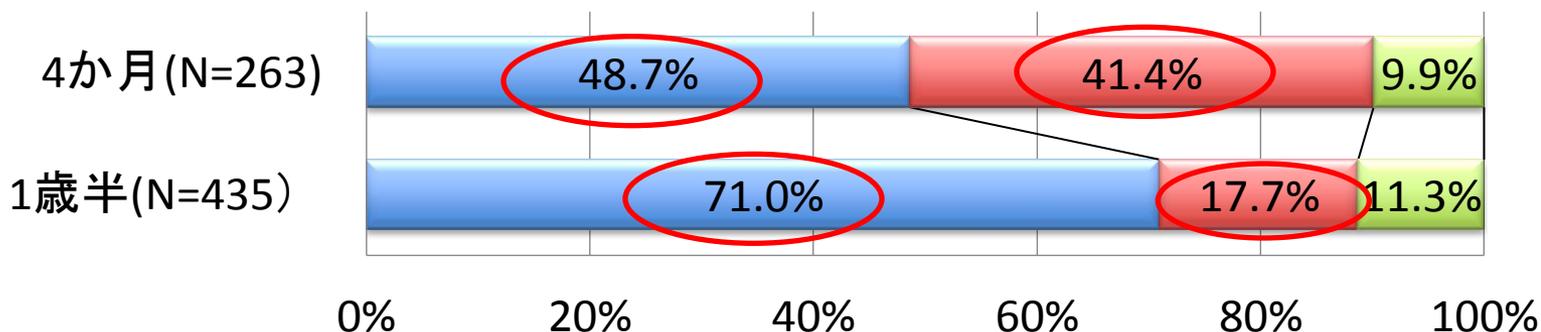
回答者の年齢

(N=675)



■ 10代 ■ 20代前半 ■ 20代後半 ■ 30代前半 ■ 30代後半 ■ 40代

外出時のベビーカー利用について



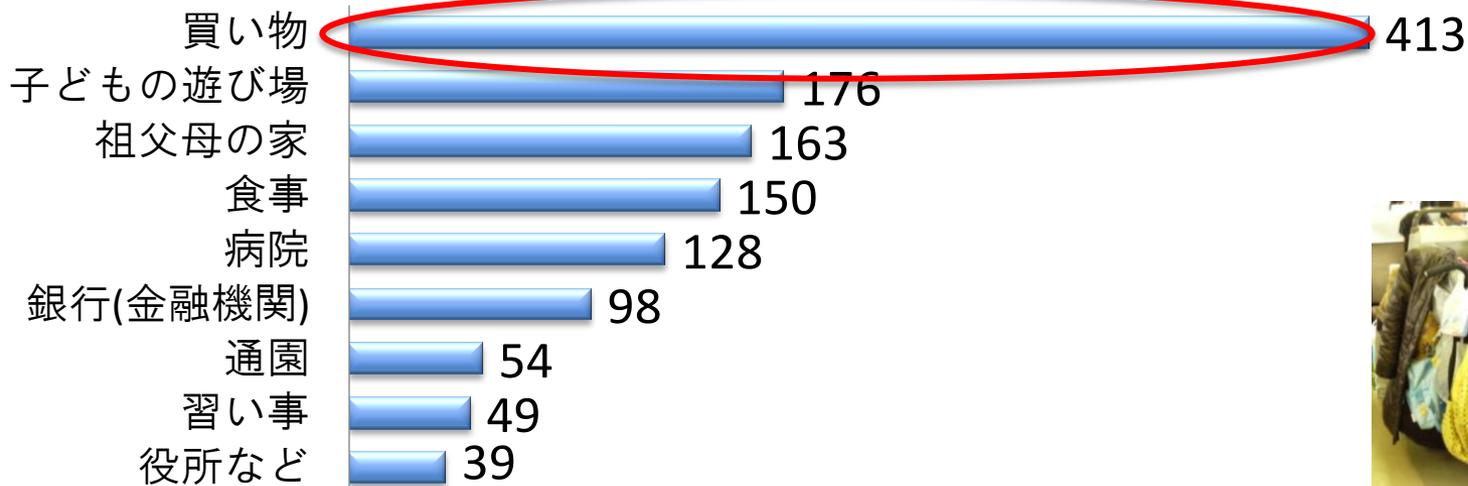
■ 公共交通機関でもベビーカーを利用する

■ 公共交通機関ではベビーカーを利用しない (N=698)

■ ベビーカーは利用しない

外出目的・外出先

(N=437)



公共交通機関の利用頻度

複数回答 (N=437)

	週4回以上	週2, 3回	月数回	年数回	ほとんどなし	なし
電車	10	26	220	126	44	11
割合(%)	2.3%	5.9%	50.3%	28.8%	10.1%	2.6%
バス	2	11	67	83	203	71
割合(%)	0.5%	2.5%	15.3%	19.0%	46.5%	16.2%

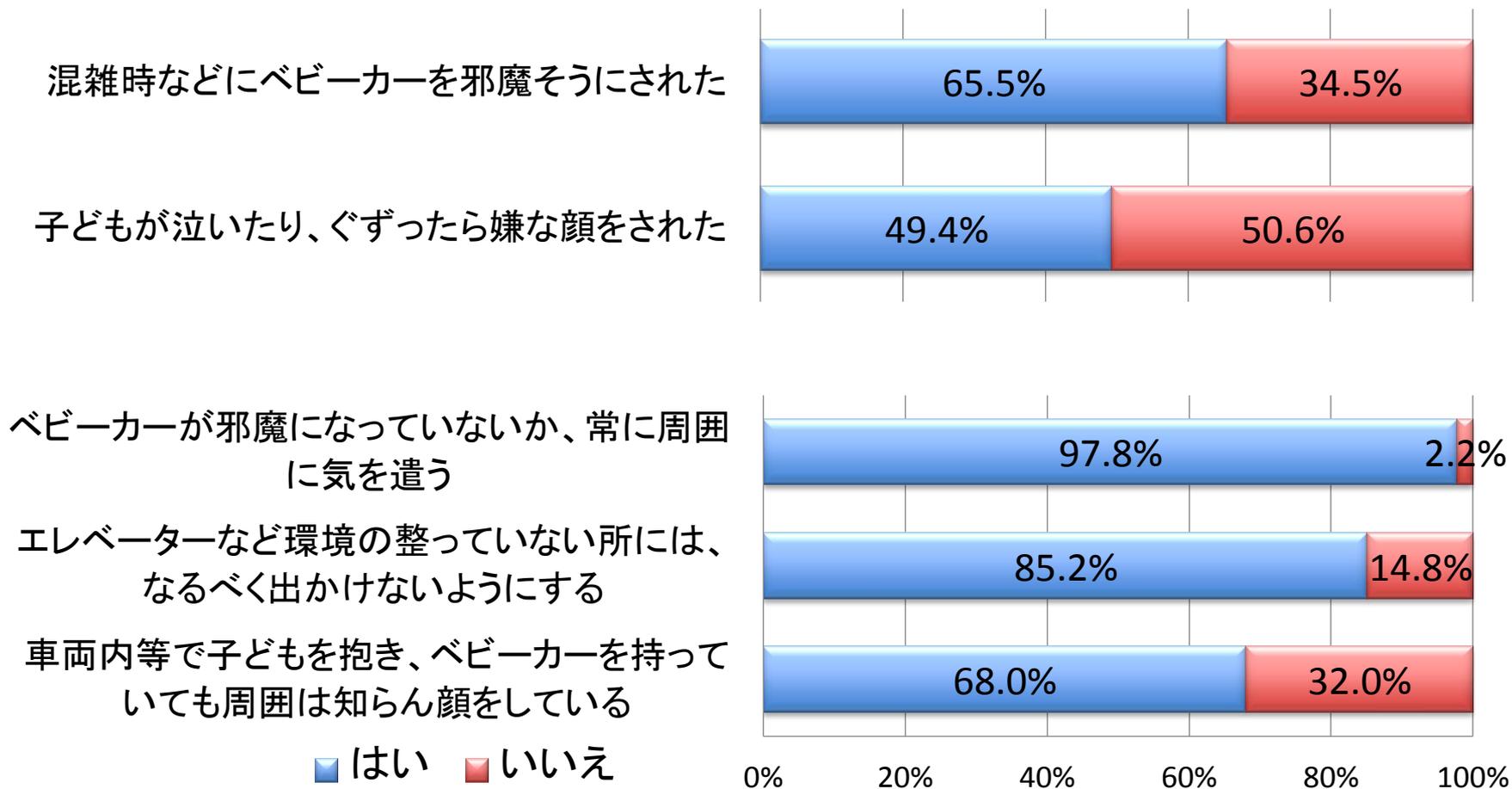
外出の際の子どもの荷物

複数回答 (N=433)

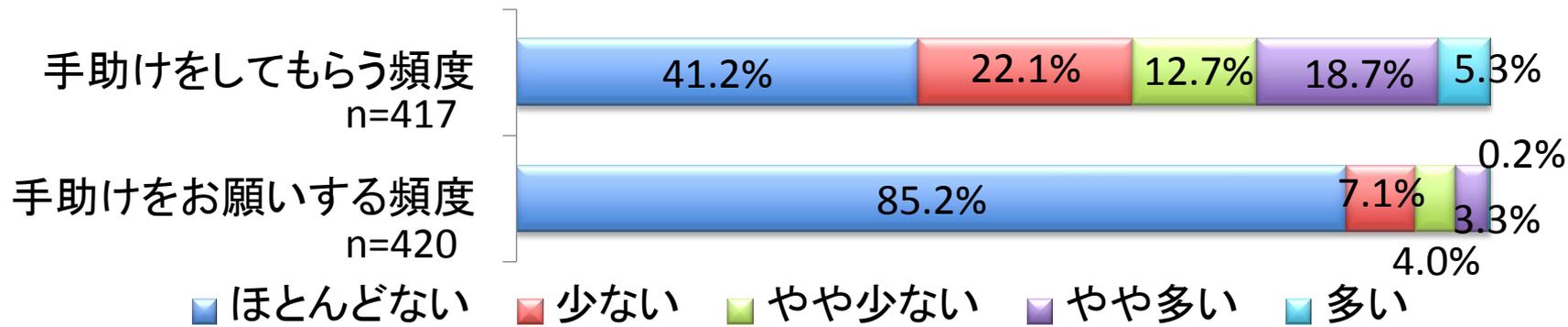
持ち物	オムツ	おしりふき	ガーゼなど	飲み物	食べ物	ブランケットなど	服(着替え)	おもちゃ
件数	429	419	315	265	263	254	251	186
割合	99.1%	96.8%	72.7%	61.2%	60.7%	58.7%	58.0%	43.0%

1-2 乳幼児連れの外出時の意識

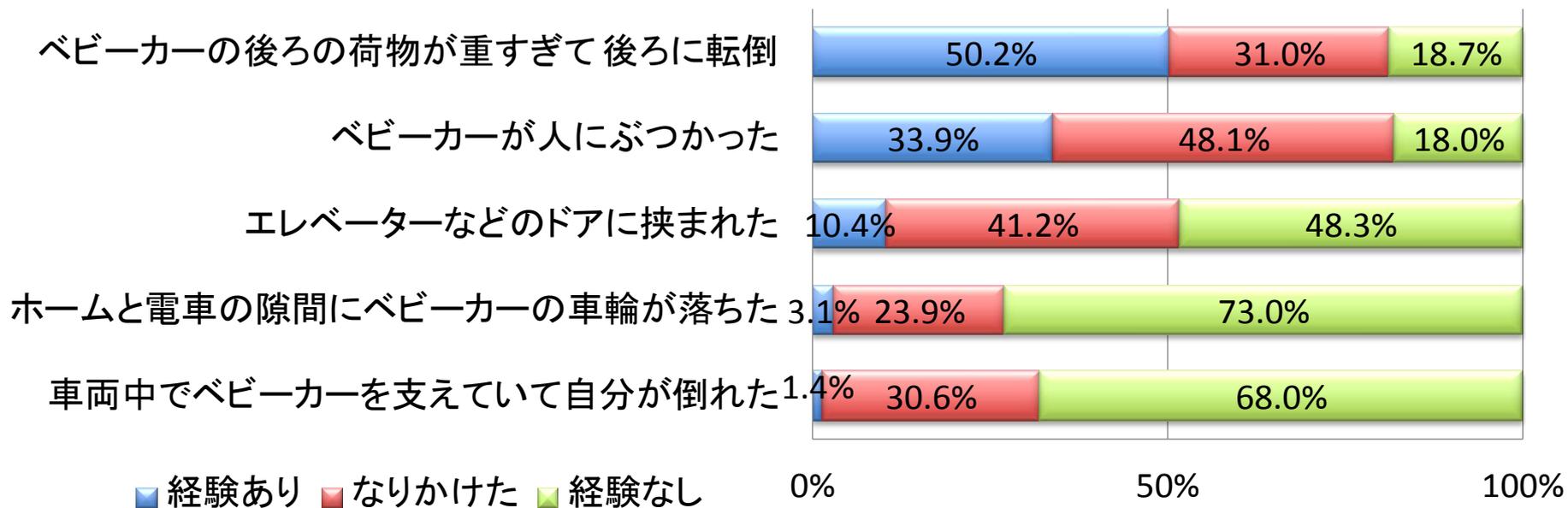
公共交通機関などでベビーカーを使っている際の周囲からの反応や、自分がしている周囲への対応



周囲からの手助けと周囲への手助け依頼頻度



公共交通機関でのヒヤリ、ハットした経験



質問項目で挙げたトラブルの経験(N=422) 10

ヒヤリ・ハットした経験 自由記述

分類	ヒヤリ、ハットした内容（回答数）	
上下移動(25)	階段(14)	階段しかない所で、ベビーカーと子どもを抱えて降りるとき、転倒しそうになった (4)
		階段しかない駅で、子供をかかえてベビーカーを担いでいたら子供がぐずって落ちそうになった (3)
		ベビーカー、子ども、荷物を持つと足元が見えなく、階段を踏み外しそうになった。ほんとうに怖かった (3)
		たたんだベビーカー、荷物を持ち、子どもを抱き、上の子の手をひくのは大変。上の子が階段から落ちそうになった (3)
		階段をベビーカーを抱えて降りようとして、ベルトがはずれ落としそうになった (1)
	エスカレーター(6)	降りる際、ベビーカーの前輪が挟まり、エスカレーターが止まってしまった (3)
		エスカレーターに乗った時に前輪がうまく進まなくて転倒しそうになった (2)
		最後まで上がった時に、段差を上げられず後向きに転がり落ちそうになった (1)
	エレベーター(5)	開くボタンを押してくれず、知らん顔でドアが閉まることが何度かあり怖かった (4)
	もたもたして、子供だけがエレベーターに乗りこみ、そのまま上がってしまった (1)	
電車(26)	ホームと車両の隙間(14)	隙間にベビーカーの前輪が落ちそうになって子供も落ちそうになりヒヤとした (12)
		子どもを乗せたまま電車に乗ろうとしたら、ベビーカー持ち手の付け根が折れ、電車とホームの隙間に車輪がはまった(購入して半年もたっていない)(1)
		歩けない子どもを抱っこ紐で抱っこして、もう一人をベビーカーに乗せて電車に乗ろうとしたら、電車とホームの間に後の車輪が落ちてしまった (1)
	車内転倒(6)	優先座席付近で立っていても席を譲ってもらえず、子供がぐずりだし、ベビーカーを押さえながら抱っこしていて、電車が揺れて倒れたことがある (6)
	電車扉(4)	ベビーカーの前輪が挟まったまま扉が閉まり、必死で取ろうとしても開かず怖い思いをした (3)
		並んで待っていたのにベビーカーで乗ろうとした時扉が閉まり、ベビーカーが挟まったまま電車が動いた (1)
	その他駅構内(2)	子どもを抱っこ、荷物を2つ(大き目)持ち、たたんだベビーカーをもち降りる際バランスを崩し、子どもをホームに落とした。けがはなかったが、かなり落ち込んだ (1)
	改札を通る時ベビーカーと改札の幅に気をとられ子供が横に手を出していた事に気付かず挟んでしまった (1)	
バス(12)	車内転倒など(7)	バスの運転が荒くて、急ブレーキでベビーカーが倒れて転がった (4)
		バスの中でカーブの時に畳んでいたベビーカーが倒れて男性の足にあたりかけた (2)
	利用経験による敬遠(5)	荷物が多くベビーカーをたためないのが見てわかる状態なのに、運転手にベビーカーをたためと言われ、子供を抱っこしていたら落としてけがをさせそうになった (1)
	子供を抱いて、荷物を持って、たたんだベビーカーを支えながらバスに乗車するのはかなり厳しい。なるべく乗らないようにしている (4)	
	「固定ベルトが義務づけられている」と、座っているお年寄り2人を立たせて固定ベルトをしたのでとても周りに気がついた。それ以来バスには乗っていない (1)	
その他(34)	ベビーカー転倒(13)	ベビーカーの後ろに荷物をつんでいて子供がグズった時にそのまま抱きあげてベビーカーが転倒したことがよくある (7)
		後ろにかけた荷物が重すぎてベビーカーごと倒れた (6)
	周囲(9)	目線より下にあるベビーカーの存在に気付いてくれないことが多い (4)
		ベビーカーは低いので周りに人が立っているとそこが空間だと思われ、急いでいる人が突っ込んできたりする (3)
		ベビーカーが邪魔等で文句を言われたことがある (2)
たばこ(12)	バスの始発に並んでいると、タバコを吸う人が結構いて子どもに火の粉と煙がとんできた (7)	
	歩きたばこの人の手がちょうどベビーカーの子供の顔の位置でやけどしないかと、ヒヤヒヤする (5)	

2. 鉄道におけるベビーカー利用者観察調査

調査概要

調査対象	JR神戸線(須磨～芦屋)駅構内及び車両内でベビーカーを利用し乳幼児を伴っている人とその同行者
調査方法	調査員(各日3名)による観察調査(追跡あり)
調査日 天候(最高/ 最低気温)	平日、休日の各2日 (2009年1月25,26日、2月6,11日) 1月25日(日)晴れ(7/1°C)、1月26日(月)曇り(8/2°C) 2月6日(金)晴れ(11/6°C)、2月11日(祝)晴れ(12/5°C)
調査時間帯	各日10-16時 (この時間帯は、対象者への事前アンケートで最も利用の多い時間帯であった)
調査件数	平日97件、休日113件 計210件

2-1 調査対象者の概要

同行者内訳(N=210)

同行者数と内訳	平日(97件)	休日(113件)
同行者 0名(109件)	66件(68.0%)	43件(38.0%)
母のみ	63	39
父のみ	2	2
祖母のみ	1	2
同行者 1名(97件)	30件(30.9%)	67件(59.3%)
母+父	12	53
母+祖母	10	8
母+友人・姉妹	6	4
母+祖父	0	2
祖母+祖父	1	0
祖母+友人	1	0
同行者 2名(3件)	1件(1.0%)	2件(1.8%)
母+父+祖父	0	1
母+父+友人・姉妹	1	0
母+祖父+祖母	0	1
同行者 3名(1件)	0件(0%)	1件(0.9%)
母+父+祖母+祖父	0	1

- 約半数が同行者を伴わず行動している。
- 平日は68.0%で、多くは母親のみ。
- 休日は同行者1人での行動が59.3%で、同行者の多くは父親

2-2 ベビーカー利用者の行動特性

○半数以上が、同行者を伴わず行動

○改札⇔ホームの移動

・観察調査対象駅:14駅

13駅が1日当たり5,000人以上利用のある駅

・エレベーター等設置状況:

エレベーター、エスカレーター、階段・・・7駅

エレベーター、階段5駅

階段のみ.....2駅

・改札⇔ホームまでの移動手段(97件)



○ 車両の乗降方法

乗車

前輪を上げて



降車

前輪を上げて



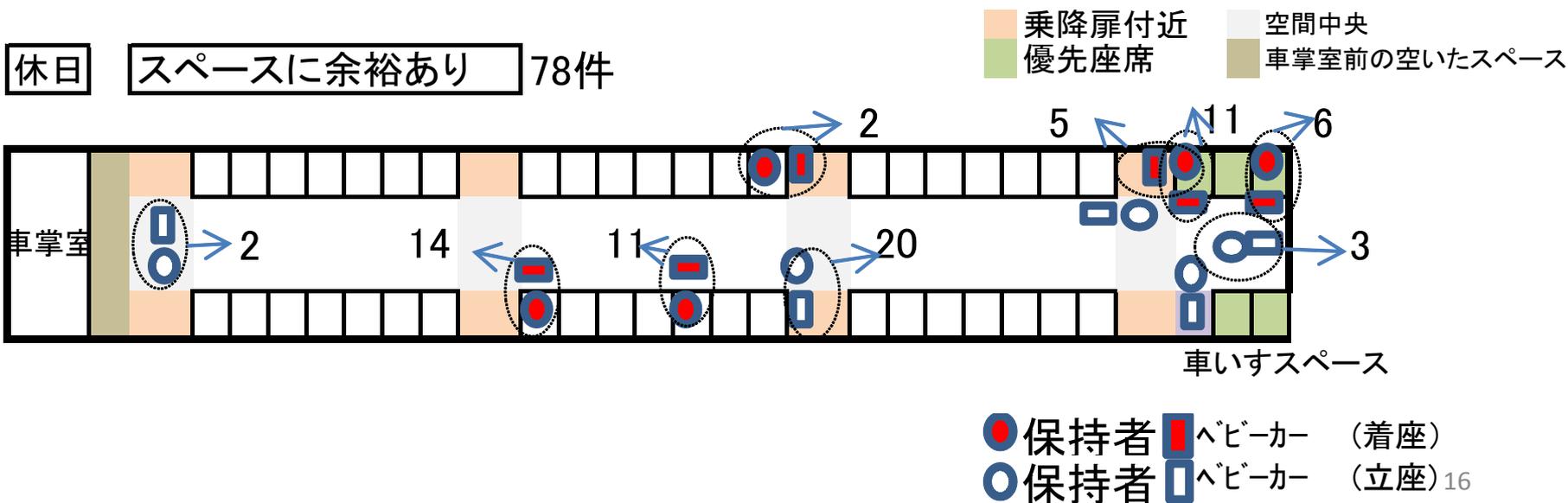
後向きで



○ 車両内のベビーカー利用者の状況

① 乗降時・乗車中ともに「ベビーカーを広げたまま」
⇒約80%

② 乗車中の位置や立着状況
⇒「乗降ドア付近」「通常座席」「優先座席」の順



○ 車両の混み具合とベビーカー利用者の状況

(N=210)

車両の混み具合		満員、やや混雑 〈混み合っている〉		席埋まり、空席あり、がらがら 〈スペースに余裕あり〉		合計
位置	立・座	立座	着座	立座	着座	
乗降ドア付近		13	0	55	0	68(32.4%)
通常座席		0	3	12	43	58(27.6%)
優先座席		0	1	0	56	57(27.1%)
補助席		0	4	0	11	15(7.1%)
車両連結ドア付近		0	0	5	0	5(2.4%)
車掌室前の空いたスペース		2	0	2	0	4(1.9%)
車いす優先スペース		0	0	3	0	3(1.4%)
合計		15(7.1%)	8(3.8%)	77(36.7%)	110(52.4%)	210(100%)

車内スペースに余裕があっても乗降ドア付近に立っていることが多い

2-3 ベビーカー利用者の危険な行動特性

①車両への乗降

- ・車両とホームの隙間が広い場合
- ・2人以上の子どもを連れている場合



②上下移動

- ・階段の上り下り
- ・エスカレーターの使用



③ベビーカーの荷物

- ・重量バランスが崩れ、後方へ転倒



④車両内でのロックの不使用 (N=167)

- ・あり41件(24.6%) なし126件(75.4%)



ベビーカーを足で固定

3. 鉄道内におけるベビーカー利用に対する乗客の意識

調査概要

対象	関西在住、10代～60代の鉄道利用者	
調査方法	タブレット端末を用いた街頭インタビュー形式調査	直接配布／直接回収による質問紙調査
回答数	168	154 (配布数200／回収率 77%)
調査期間	2011年10～12月	2011年11～12月

回答者の属性

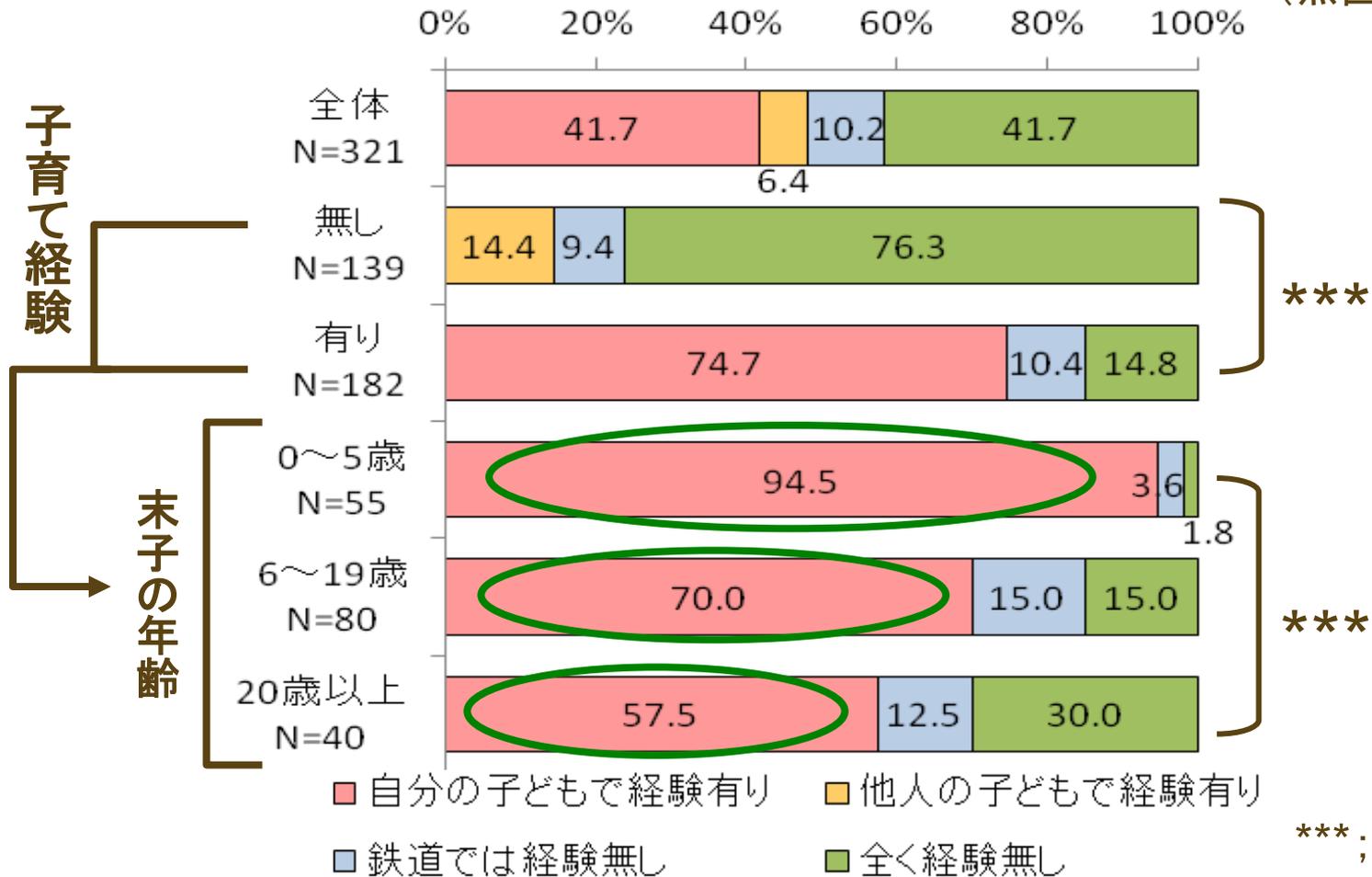
		年齢 (無回答を除く)					性別		合計	
		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60歳以上	男性		女性
全体	人	7	89	78	89	41	17	127	195	322
	%	2.2	27.7	24.3	27.7	12.8	5.3	39.4	60.6	100.0

		子育て経験		末子の年齢 (無回答を除く)			合計
		有り	無し	0～5歳の子をもつ親	6～19歳の子をもつ親	20歳以上の子をもつ親	
全体	人	182	140	55	80	40	322
	%	56.5	43.5	31.4	45.7	22.9	100.0

◆ 本研究では、ベビーカー利用世代を0～5歳の子を持つ親としている。¹⁹

3-1 鉄道におけるベビーカー利用経験

(無回答を除く)

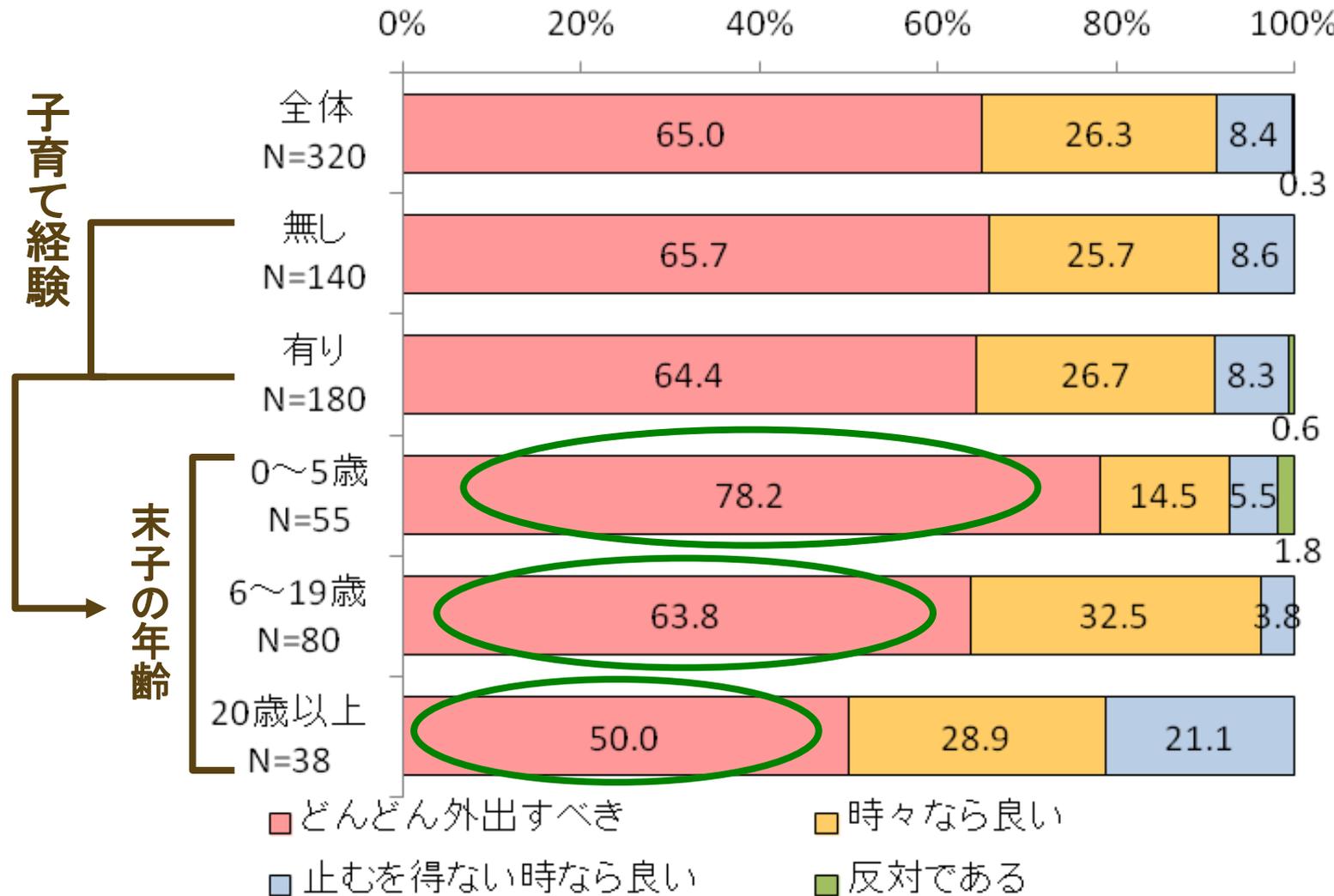


子育ての時期が遡るにつれて、鉄道でのベビーカー利用経験者は少なくなった

3-2 鉄道でのベビーカー利用に対する是非

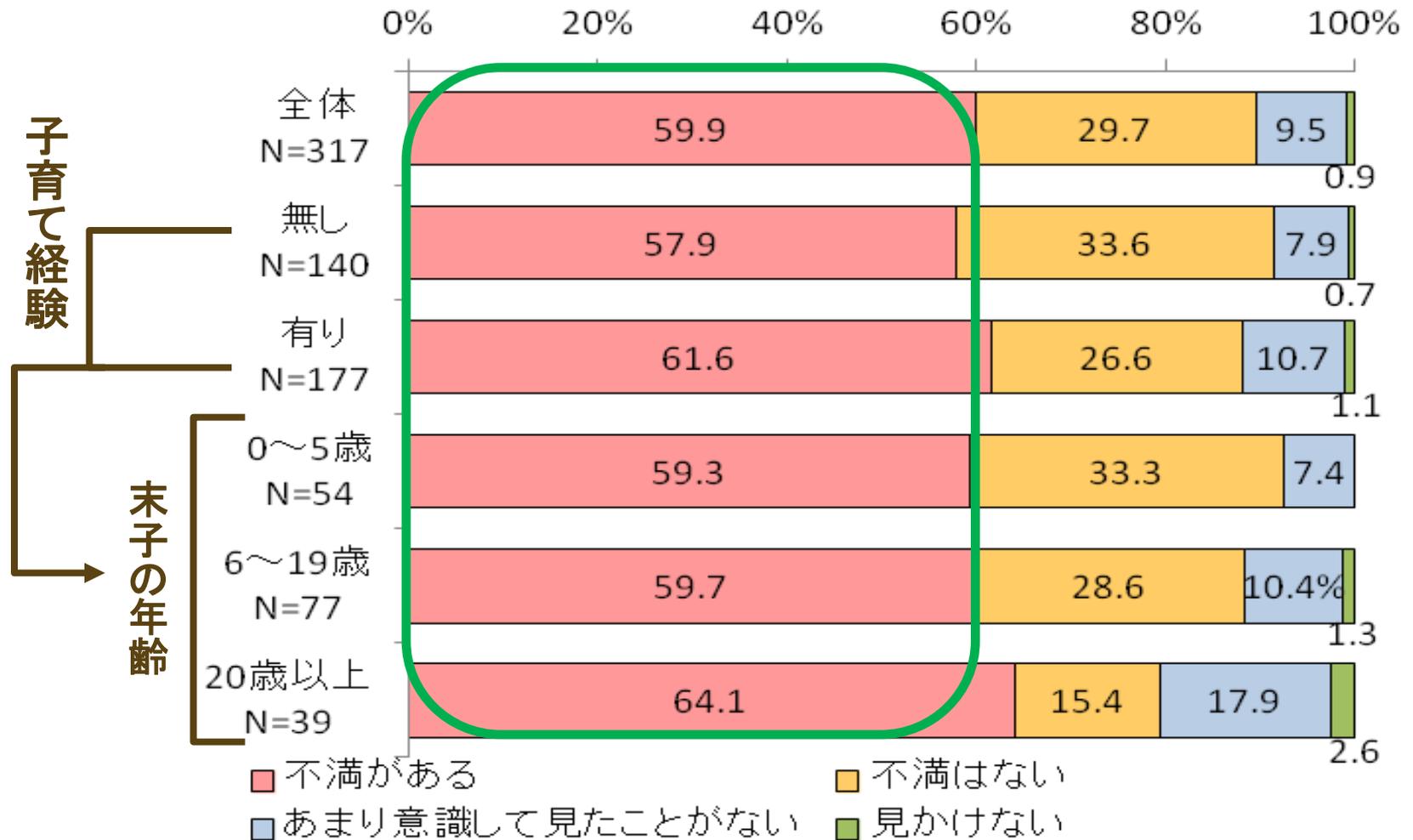
鉄道でベビーカーを利用しての外出についてどう思うか

(無回答を除く)



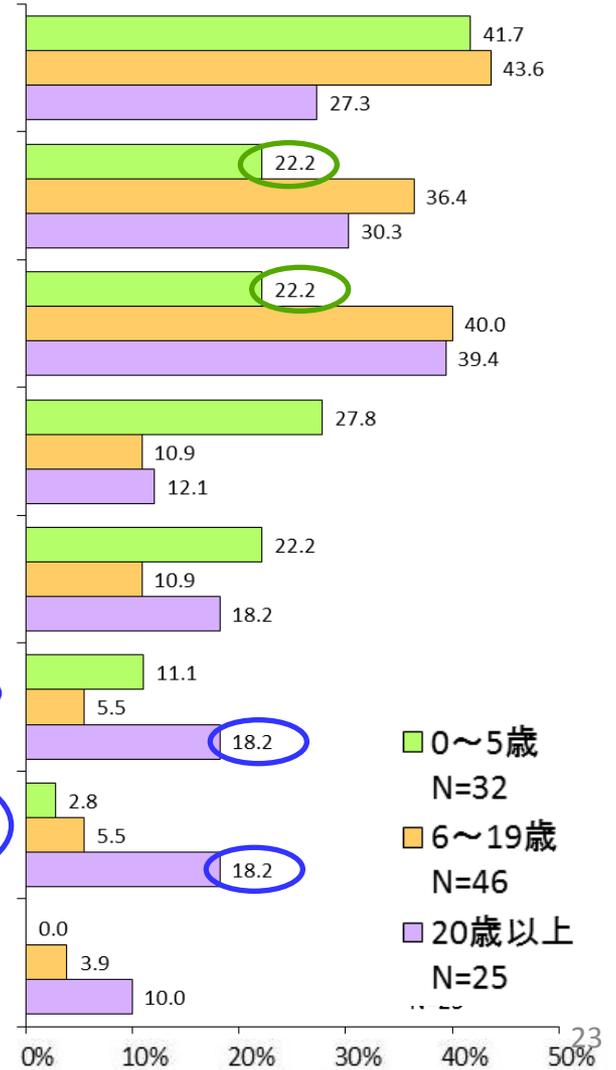
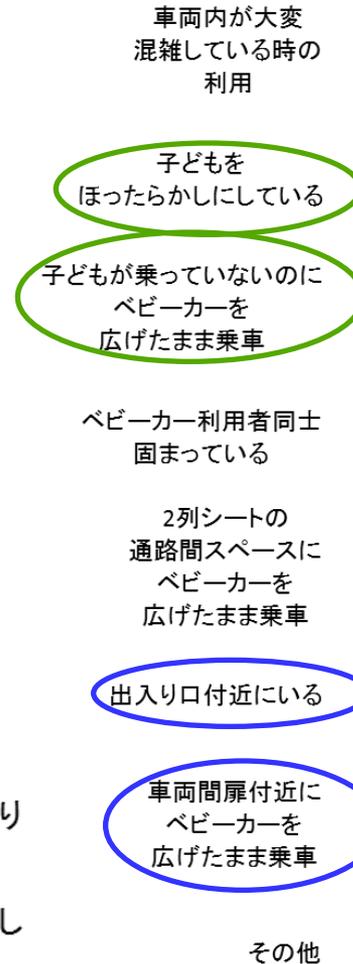
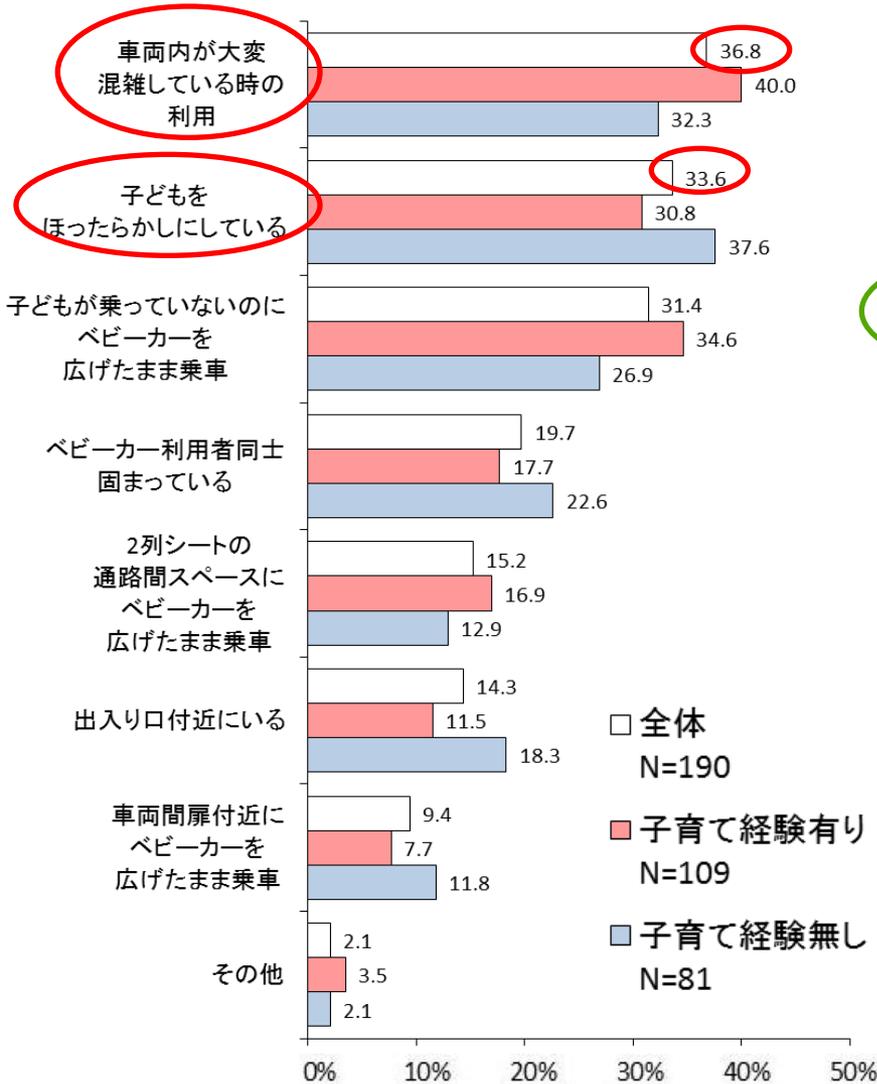
3-3 ベビーカー利用者に対する不満の有無

(無回答を除く)



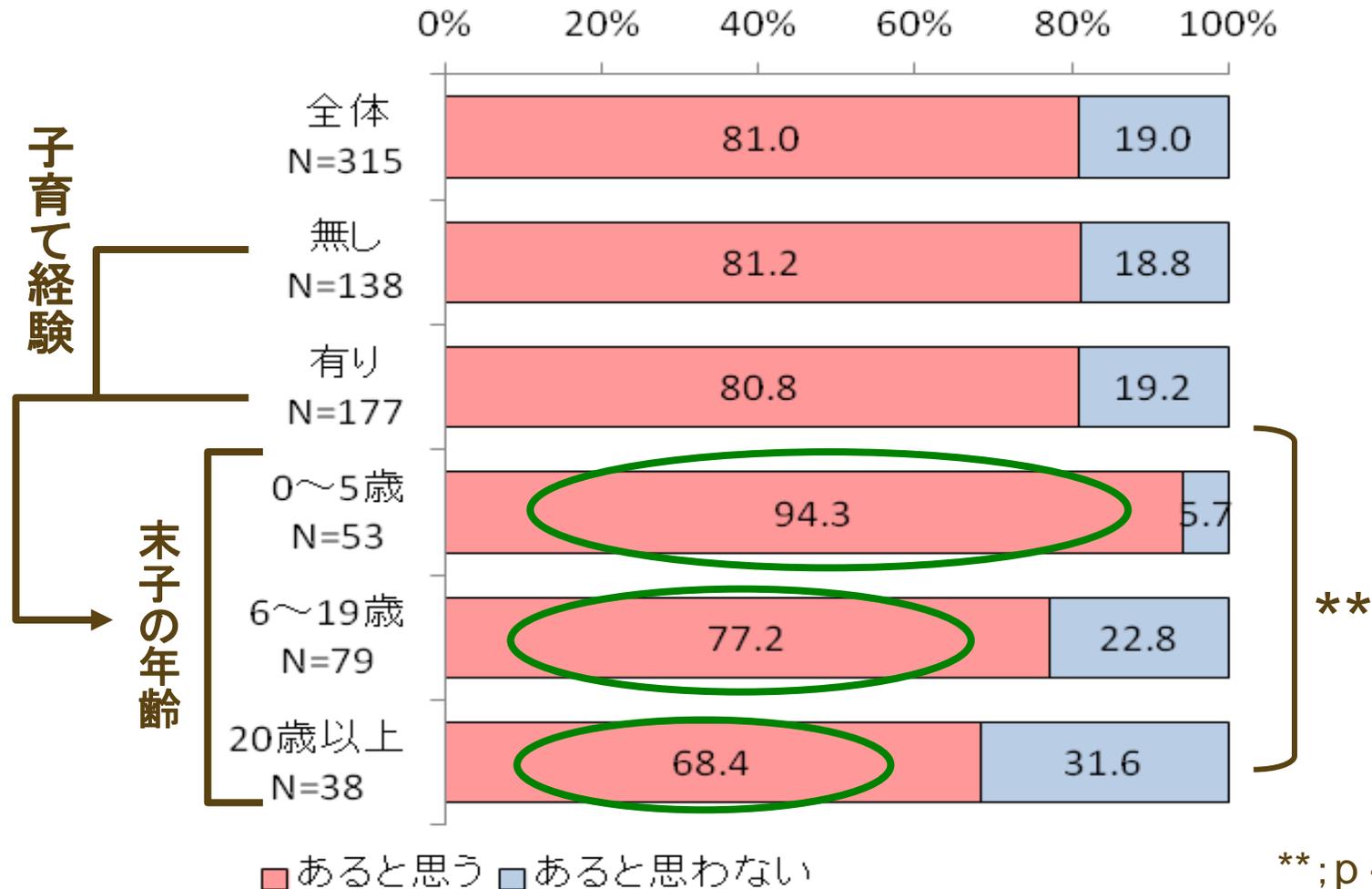
鉄道でのベビーカー利用に対する不満の内容

★末子年齢別



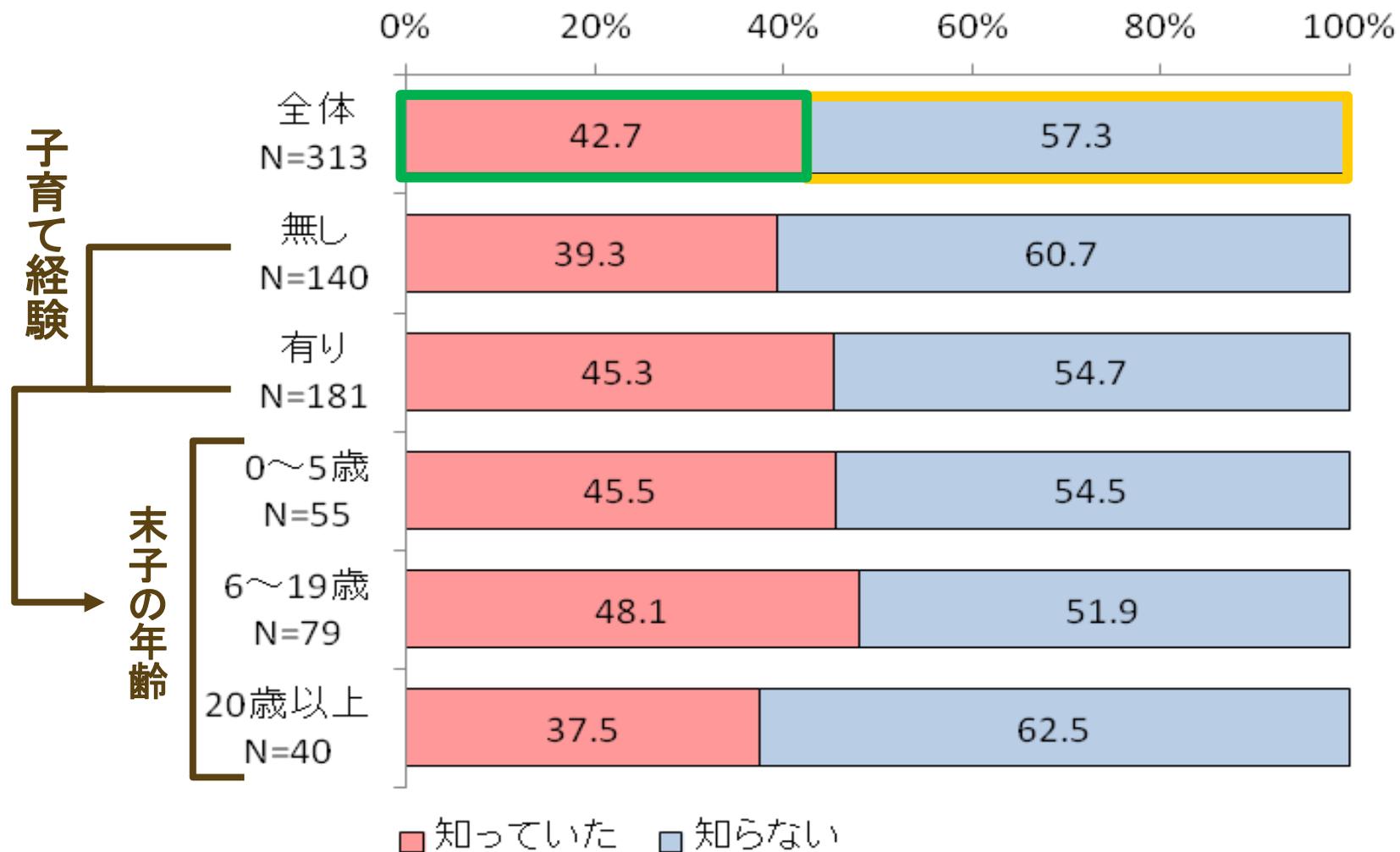
3-4 ベビーカー利用者の周囲への気遣いの有無

(無回答を除く)

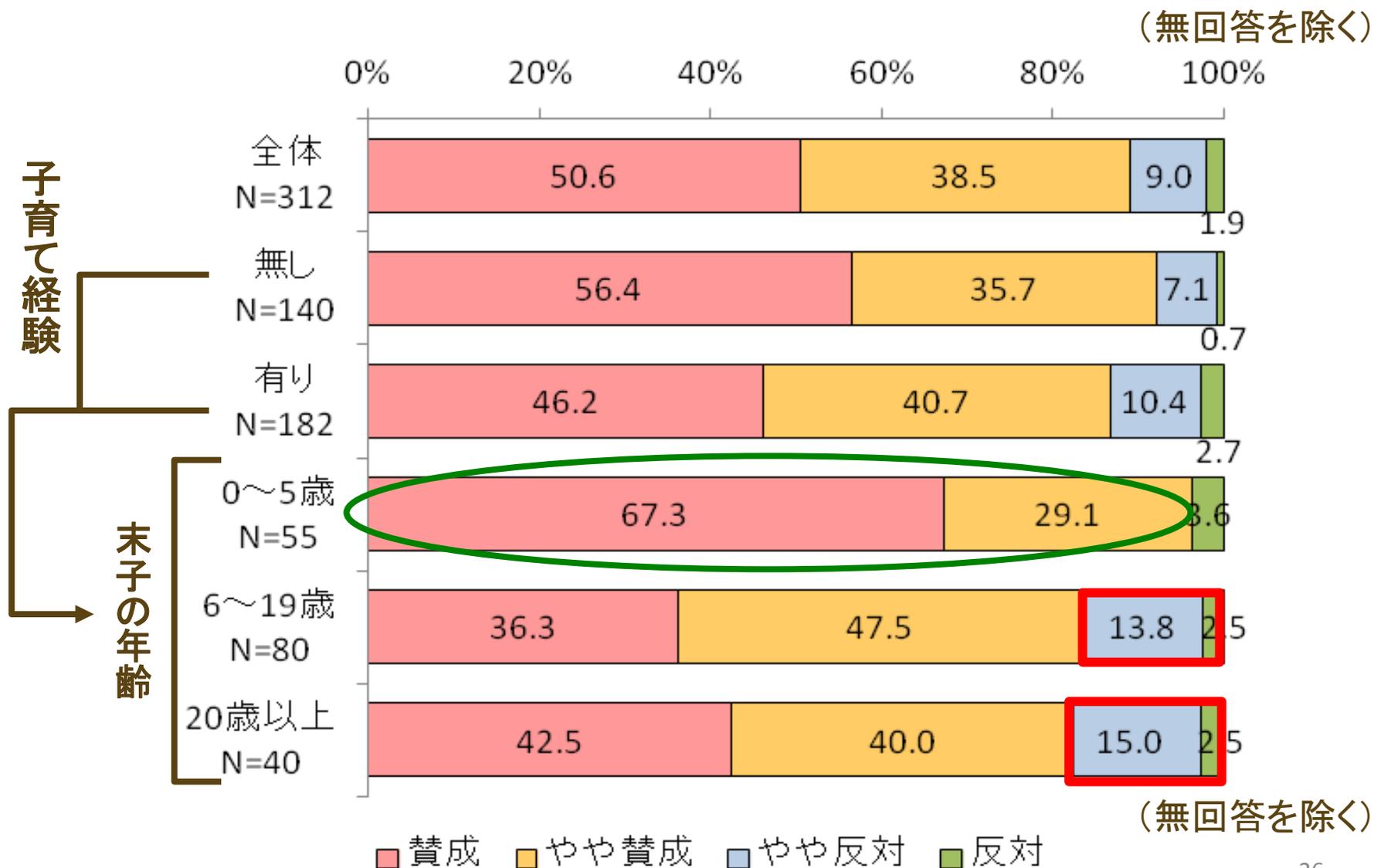


3-5 事業者のベビーカー利用ルールに対する乗客の意識

(無回答を除く)

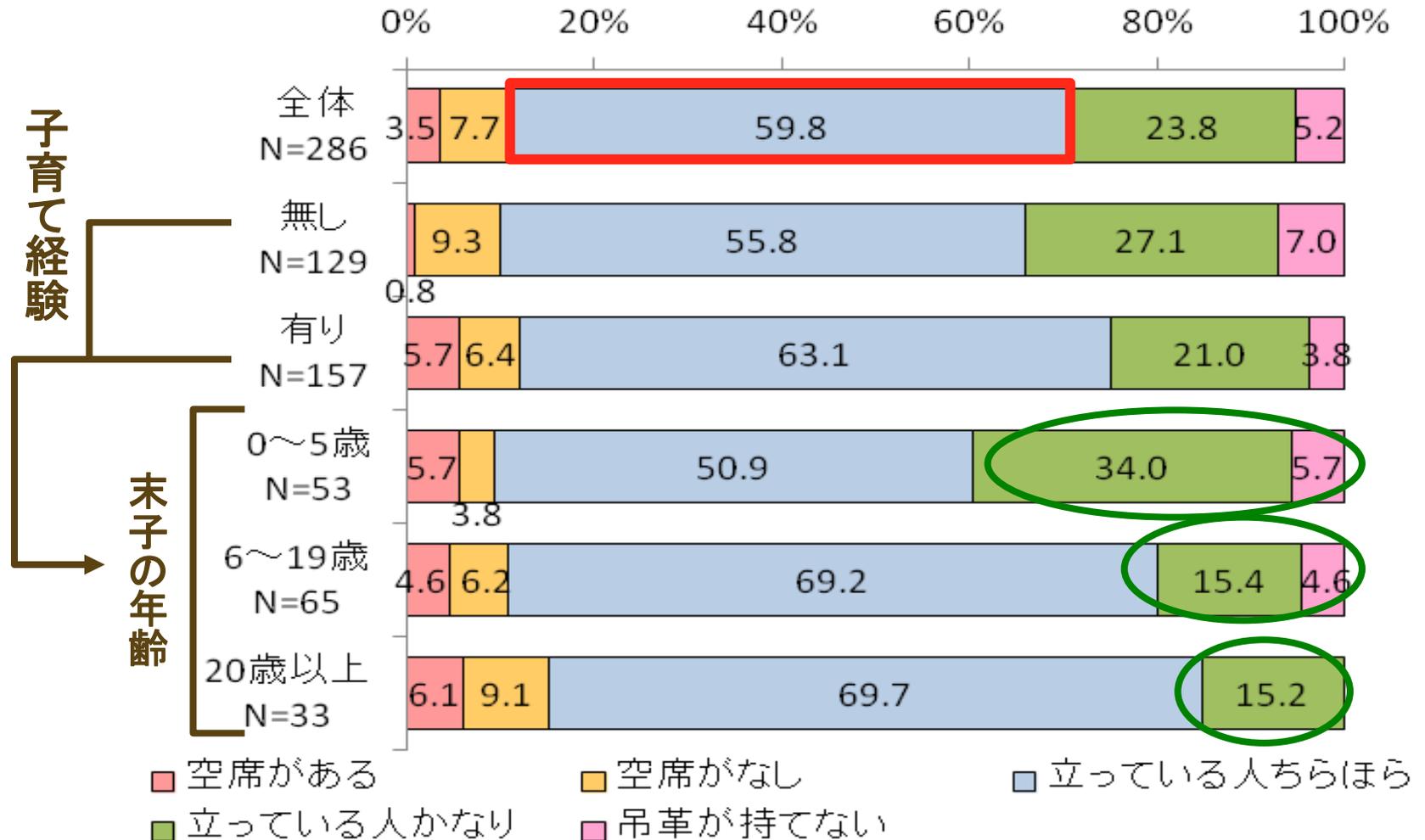


3-6 ベビーカーを折りたたまず乗車することの賛否

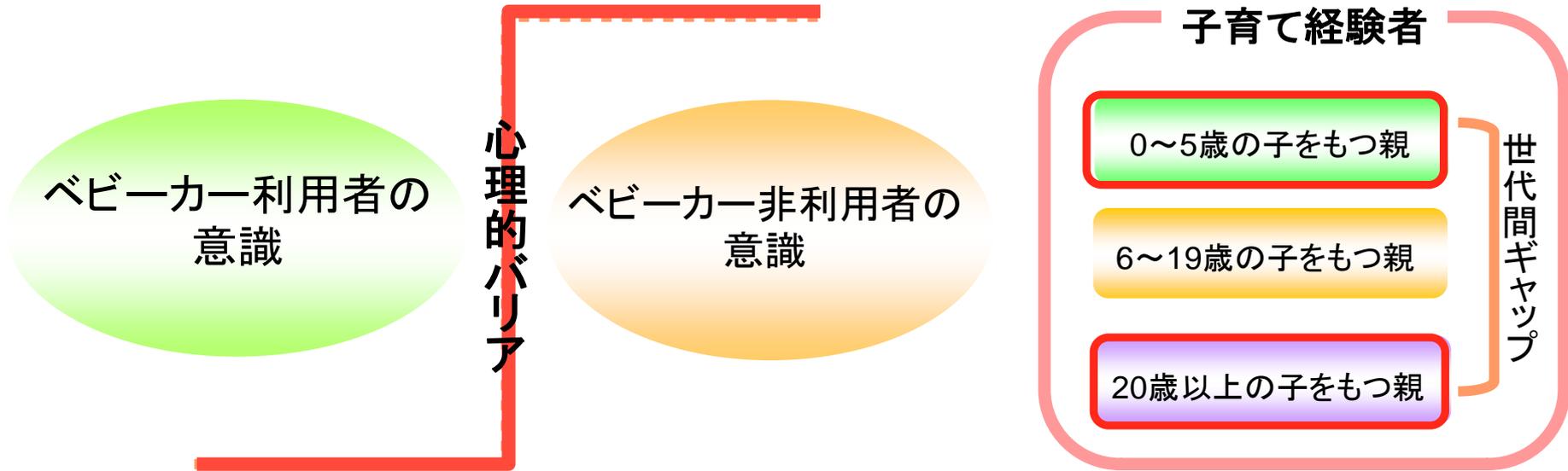


3-7 折りたたまず乗車してよい混雑状況

(無回答を除く)



まとめ



今後の課題

- 鉄道における適正なベビーカー利用方法の周知
- ベビーカー利用者への理解を深めるための乗客への情報発信
- ベビーカー利用講習の実施